



代表取締役 石原 保志

## 虎穴虎子 こけつこし

— 危険を避けていては大きな成功は得られない —

オリンピックで活躍する選手のように、チャレンジ精神をもって色々なことに挑戦していきましょう！

今年は「トラ」イブランニング！  
 ということで、虎にまつわる  
 四字熟語を毎週 Facebook で  
 お届けしています

Facebook も見てね

**皆**さんこんにちは。

冬季オリンピックも佳境ですね。東京五輪の余韻もそのままに、アスリートたちの競技に挑む姿勢は、どの種目でも何度観ても、刺激と感動をもらえます。閉会式まで応援していきます！

さて、暦は2月になってしまいましたが、改めまして2022年もトライプランニングメンバーシップ、どうぞよろしくお願いいたします。

当社の今年のテーマは「真摯な情熱」です。

日本語としてはちょっと変ですが、コロナの影響や多様化、価値観や企業を取り巻く環境変化の中で、あらためてこれからの企業のあるべき姿や、メンバーの皆さんの発展を「真摯」に考え、「情熱」をもって取り組んでいこうという姿勢です。

まずは3月に当社のメインメンバーでのセミナーを開催いたします(詳細はP4)。ぜひご参加ください。そして今年もTPメンバーシップでは、みなさまのお役に立つセミナーや、メンバー様同士がつながりを持てるようなイベントなど企画しています。詳細はこちらの会報誌やメルマガでご案内しますので、お見逃しなく！

**真摯な情熱**

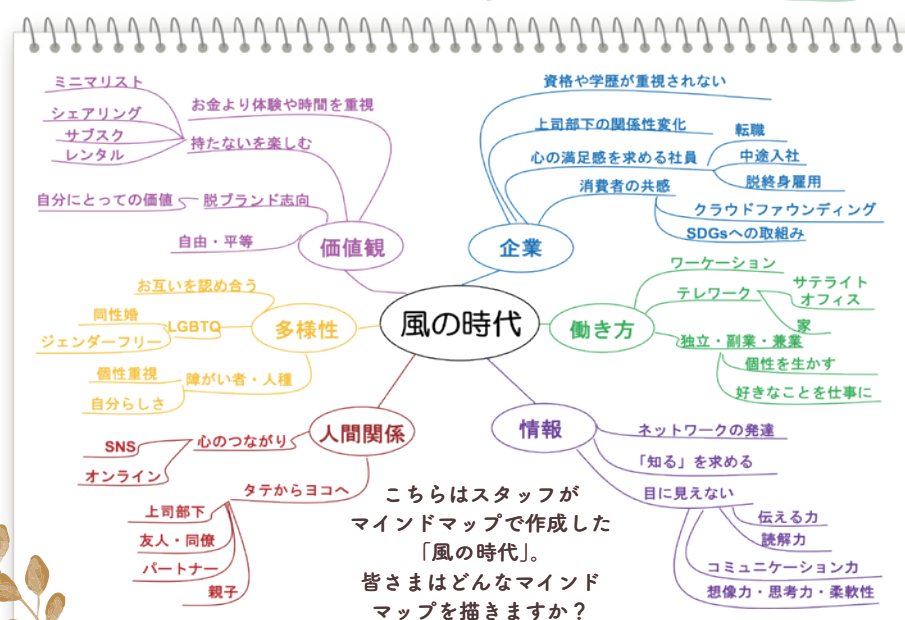
トライプランニング

## 風の時代の マインドマップ

### — 風の時代 —

2021年より「土の時代」から「風の時代」へと移り変わる、200年ごとの大転換期に入りました。物質や金銭、権威が重視されていた時代から、情報や知識が求められる時代になるといわれています。そんなことを言われずとも、私たちはこの2年で、知らず知らず価値観の変化を肌で感じているはずです。

さあ、変化を楽しむ準備はいいですか？





## 自社の持続発展の取組み

第四回目の誌面インタビューは、2014 年より研修、ホームページ等でサポートさせていただいている株式会社ミヨシ・ロジスティックスの吉田社長にお伺いしました。

現在、かながわ経済新聞に毎月連載を持ち、近未来技術研究会の会長もされています。ご自身が事業を継承されたのは9年前。当時の想いやコロナによる事業への影響、今後の展望などーズバリお伺いしたいと思います。

※このインタビューは、2022 年 1 月 28 日に Zoom にてお伺いいたしました

### INTERVIEW

株式会社  
mi ミヨシ・ロジスティックス



株式会社ミヨシ・ロジスティックス  
代表取締役社長 吉田 英訓 様

創業 1992 年 5 月 従業員数 164 名 (2021 年 1 月現在)

所在地 神奈川県相模原市緑区下九沢 2129-4

tel / fax tel: 042-779-6619 / fax: 042-779-9594

事業内容 人材派遣業・請負業 (生産事業、業務事業、技術事業、国際事業)

#### 社是

着眼大局・着手小局

#### 経営理念

事業を通じて人が向上心を持ち、挑戦し続ける事で、心身を豊かにして社会の発展に貢献する

#### 社標のコンセプト

時代を考察し、時代が必要とする 1 歩先にある夢の獲得のために、人材や物の提供を通じて社会に貢献していく。

吉田社長、よろしくお願いいたします！

はい、よろしくお願いいたします。

まず現在の事業内容についてご紹介ください。

製造に関するアウトソーシング事業なので、大きく二つ、請負事業と派遣事業がメインです。これで 80 ~ 85%、残りの 15%が物流倉庫業です。

今年は 30 周年なんですね、おめでとうございます！



ありがとうございます。創業は 1992 年となっていますが、事業自体はそれ以前から続いています。集まっの周年行事はしませんが、毎年社員には 10 年・15 年・20 年と永年勤続表彰をしており、賞状と記念品のカタログギフトを渡しています。そのほか、全社員に毎年バースデープレゼントを渡しています。最初、生まれた日の新聞を渡していいアイデアだと思ったんですが、一回渡したらもう次はどうしようかなって (笑) 今はクオカードとバースデーカードを渡しています。

さて、現状の景況感はいかがですか？

おかげさまで対前年比で売上も収益も良かったです。コロナに関しては中小企業はどこもそうでしょうが「お客様ありき」の部分が非常に強く、当社も同様です。メインの顧客である大手プラント会社様からの仕事は景気に左右されませんが、自動車メーカー様は販社さんの予算の関係で季節変動は激しいですが、まずまず安定しています。

ただ、世界中がコンテナ不足でモノが動かせないという状況が去年の秋くらいから続いており、今後オミクロンの拡大でどうなっていくのか、逆に収束し経済が動き出したらはたして一気に動くのか、もしくは需要自体継続するのか、ある意味戦々恐々としています。

社長に就任して丸 9 年。

事業承継時のご苦労はありましたか？

先代は色々な事業を手掛けましたが、私は引き継いだ時、本業に集中しようと「改善力」と「人材教育」という二つを継続してしっかりやっていくことを決めました。



当社の場合は製造業と言っても加工や開発ではなく、お客様の仕事に「人」でお手伝いをしています。つまり必要なところに人材配置をすることと、現場の作業改善力で、お客様へよりスピード感や安全性、コストダウンなどで貢献することだと。

なるほど、「改善力」と「人材教育」は、どの業種にも共通するテーマですね。具体的にお聞かせください。

人材教育においては、リーダーや主任クラスの育成が難しく、現場の作業ができる、イコール、リーダー、ではないんですよね。リーダーの役割として部下後輩指導がありますが、その時も、部下の覚えが悪い、できない、というのではなく、なぜわからないのか、できないのか、様々な角度からアプローチしているか、と。複眼的に見て積み重ねていってほしいと考えています。

改善力では、例えば当社ではデイリーで収支が出るようにしており、目標値も出しています。それを毎日現場に伝えています。するとその数字を通してなぜ悪いのか、どうしてよかったのか、を考えるようになってきました。これが作業現場にもだんだんと浸透してきたように感じています。

目標値に達成したから良い、ということではなく、なぜそうなったかを考えてもらうことが重要だと思っており、基本的なことかもしれませんが、こうして「自分で考えて」ということを地道に刷り込んでいるつもりです。

そうしたお考えを、現場が違う社員の方に伝えるために社長がされていることとは？

基本的に毎日各現場に行き、リーダーと情報共有をしています。あとは数値管理も大事にしています。当社は賞与の前月に、各自の給与明細に会社の状況と一時金について僕が手紙を書いています。

社員の方にコスト意識をもってもらうことは重要ですね。さて、価値観変化も感じる昨今ですが、これから新しく取り組みたいことなど教えてください。

日本の製造業は変わっていくだろうと思います。もう大量消費の時代ではないですよね。そういう意味では、今の若い人たちは製造現場でモノを作る、という世界に來なくなってくると思うんです。

私は金融機関や役所、商工会とのつながりから、若手の話を聞く機会も多いのですが、彼らの感覚は面白いものがあると思うので、そのあたりは活かしていきたいと。



ただ、自社採用を考えたとき、若手ありきだけでなく、人生100年、元気な高齢者も増えますので、そのあたりの人材活用も重要じゃないかと思います。また、業態でいうと、派遣事業は年々法律的に参入が難しくなっており、対応できない会社もあります。そうしたところとの M&A も一つの手段かな、と思います。

なるほど、法律も絡んできますよね。それでは、ずばり、事業継続発展のために大事なことは？

繰り返しになりますが、「改善力と人材教育」ですね。この2つに関しては、この9年間ぶれることはなくて、これが言ってみれば木の幹と根の部分。葉や花は繰り返し咲くけど、昨年と同じではないですよね。ここは時代に合わせていけばよいと思っています。

当社の資源は「人」ですので、オリジナルの「健康管理チェックシート」を毎日全員で活用しています。自分自身は毎日体重計に乗るようにしています。夜の炭水化物を控えめにするとか。あとはゴルフですね(笑)。



吉田社長、お忙しいところありがとうございました！



インタビューを終えて  
After the interview

約1時間のインタビューは、笑いの多い楽しい時間となりました。

各種団体で培われたコミュニケーション力の高さに請負・派遣事業という「人」が資源となる会社の社長だと感心させられました。

これからも美しい花を咲かせるための幹と根、「改善力と人材教育」について当社もサポートさせていただきます！



次回のインタビューもお楽しみに！



3/17  
THU

オンライン  
開催



お申込みは QR コード  
またはお電話にて  
TEL 045-620-3010

日時

3月17日(木) 16～17時  
Web セミナー (Zoomにて開催)

コロナ禍のもと、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。

社会ではSDGsが言葉として先行していますが、環境対応だけが目的ではなく、お客様、従業員、社会の「三方よし」を行うための一つの基準になっていると考えます。

あわせて法制度の整備や、IT化が進んでいますが、何を課題とし、どうすれば良いのかお悩みの経営者の方も多いと思います。

2022年に施行される法制度の理解と、自社で取り組むべき課題を、トライプランニングのメインコンサルタント3名が、ざっくばらんにお話いたします。

ぜひご参加ください！



01

中小企業診断士が話す2022年施行の改正法知っておくべきポイント (20分)

中小企業診断士 牧野雄一郎



02

2022年4月から施行される【義務化】もろもろ 準備OK? (20分)

人材育成シニアコンサルタント 伊藤律子



03

ますますわからなくなるDX！社内のIT化どうすれば・・・ (20分)

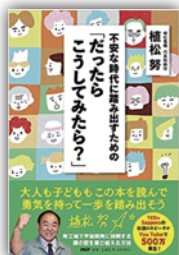
トライプランニング代表 石原保志



CHECK IT OUT!

B お  
O す  
O す  
K め

今回の3冊はお客様より頂きました。夢工房だいいん株式会社 光田相談役には、毎月為になる本やスクラップを頂いております。本当にありがとうございます。株式会社 Six Stars Consulting 原田社長、スーギなお年玉本、ありがとうございます。



不安な時代に踏み出すための「だったらこうしてみたら」 植松 努 (著)

当社研修でもご紹介している植松社長の本。ぜひお子さんに、若手社員に読ませてあげてください。迷いのドツボにはまっても「だったらこうしてみたら」という一言でふっと浮上できる本。ご自身でもぜひ！

冬の夜長に  
この1冊



土木のころ 田村 喜子 (著)

日本の土木業界で働く人たちの心意気がガツンと響きます。日本のインフラをまさに現場で造ってきた人たちの一筋縄ではいかない苦労を、仕事を越えた理念をもって突き進む姿に、地上の星を感じます。特に建設業の方、ぜひ！



品格の教科書 山本 由紀子 (著)

謎マナーも多い昨今、本当のマナーとは背景があることを創業132年の呉服屋を営む著者が優しく教えてくれる本。決まっているから、ではなく、なぜそうしているのか想像力をもう一つ働かせることで各段に人間力に差がでます。経営層は特に必見！ぜひ！

編集  
後記

さつま芋も、おいしいですよ～♪スーパーで漂っている焼き芋の香りにはつつい吸い寄せられちゃいます。老化防止のビタミンEが野菜類の中ではもっとも多く含まれているそう。これは食べないわけにはいかない！そんなサツマイモ、炊飯器で炊くのがオススメです。サツマイモと水を入れてスイッチ ON、以上！ねっとりあま～い幸せのお芋ちゃんができあがりです。ぜひお試しを！

イチオシは  
超絶甘い  
「紅天使」だよ。  
安納芋級！

